

多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン
兵庫県立大学看護学研究科インテンシブコース

看護現象を読み解く 事例検討会の進め方

臨床の看護現象を読み解き介入の糸口を見つけ出す「事例検討の進め方」について、ご講演頂きます。当日は、事例検討の演習も行う予定をしております。

がん看護に携わられている皆様のご参加をお待ちしております。

日時: 2020年3月1日(日) 10:30~12:00

場所: CIVI 研修センター 新大阪東(E604)

大阪市東淀川区東中島1丁目19番4号

* JR「新大阪」駅下車 東口から50m

地下鉄御堂筋線「新大阪」駅から徒歩5分



対象: がん看護に携わる看護師、専門・認定看護師、CNS コース大学院生、修了生、教員 (先着 80名)

講師: 内布 敦子先生(兵庫県立大学副学長)

コメンテーター: 近澤 範子先生(兵庫県立大学名誉教授)

無料

*事前申し込みとなります。

以下へアクセスの上、必要事項(氏名、所属、連絡先等)を、

2020年2月20日(木)までにご登録下さい。

<http://apnhyogo.net/seminar2/>



—主 催—

兵庫県立大学大学院看護学研究科

多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン

(責任者: 内布 敦子)

■講師/コメンテーター紹介

内布 敦子(うちぬの あつこ)先生

兵庫県立大学副学長/看護学部 教授。東京女子医科大学看護短期大学 講師、ミネソタ大学看護学部 Researcher scholar を経て、1993 年兵庫県立看護大学創立から現在まで、兵庫県立大学にて、がん看護学他、症状マネジメント、緩和ケア、セルフケア理論、看護管理学、看護の質評価、医療の質評価などについて研究活動をされています。

文部科学省全国がんプロフェッショナル協議会理事。日本がん看護学会 理事。

近澤 範子(ちかざわ のりこ)先生

高知女子大学卒業後、看護実践、母校の助手を経て聖路加看護大学大学院修士課程修了後、精神科看護実践に携わる中で事例検討会を実践に組み入れる体制作りを行い、各病棟の事例検討会への参加と並行して拡大事例検討会（多職種・地域の関連職員も参加）を定例化。兵庫県立看護大学開設準備室を経て開学後は精神看護学を担当し、学部・大学院教育の傍ら県下の精神科看護実践家との事例検討会および CNS 課程修了生による事例検討会を定期的に開催。近年は障害者地域生活支援職員の事例検討会アドバイザーとしての活動もされています。

■内容

事例検討会は臨床でも研究の場でも頻繁に行われていますが、単なる連絡調整に終わったり、具体的でみなが納得できる患者へのアプローチが見つからなかったりで、結果的に患者さんに還元できず、時間の無駄だったのではないかという印象が残ってしまうことも多いと思います。

事例検討会を経て、患者理解が深まり、看護の方向性が見えるだけでなく、明日、患者さんのそばに行ったら看護を実現できると思えるような事例検討会は、どうしたら実現できるのでしょうか。

理論的な説明で裏打ちされた説得力ある患者理解や状況理解があれば、理論が看護を導き、参加者の知恵や自由な発想を動員すれば、おのずと効果的な看護アプローチが提案されます。

事例検討会の終わりの時点で、事例提供者が看護の自信を取り戻し、顔が輝いてくるような、そんな事例検討会が実現できれば、看護ケアの質向上、ひいては患者の QOL に貢献できます。

確かな理論的解釈力と自由な検討の場をどのように用意するか、演習も取り入れながら、事例検討会の運営の仕方も学びます。

連絡先:兵庫県立大学看護学部内 がんプロ事務局
兵庫県明石市北王子町 13 番 71 号
TEL : 078-925-0860 FAX : 078-925-0858
E-mail : ganpro29-jim@cnas.u-hyogo.ac.jp



兵庫県立大学 大学院 看護学研究科

College of Nursing Art and Science, University of Hyogo